

有縁の皆さんでお読み下さい

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

せとは、春と秋とを知らない。そして、それは夏さえも知らないということ

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.327



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

歡喜会・物故者追悼法要

八月六日（日）

午前の部 十時から正午まで
午後の部 一時半から三時半まで

お勤め

午前 『仏説阿弥陀經』
午後 『正信偈・和讃』

ご法話

節談説教布教使

葦原 理江 師

節談説教とは、高座の上で演じられる「七五調を基調としたリズムミカルな美しい表現」「見事な美声による節まわし」「説教の五段法」という特色を持つ伝統的布教法です。つまり、節談とは、音韻・節付・構成そして身振り手振りの演出を駆使して、聴聞者の感性に訴える情念の布教法の極地を示すものといえましょう。

お詫び

年度当初、歡喜会は八月十二日（土）の予定でしたが、講師の体調不良による交代のため、急遽日時の変更となりました。悪しからず、ご容赦ください。

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記の QR コードを、スマホの QR コードリーダーで読み込んでください。

8月25日（金）
10:00~12:00 13:30~15:30
こんき常例布教
法話：東近江市林名寺 田中 謙康 師

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

真宗寺院に未来はありますか？

くピレンチをチャレンスにするためにはく

真宗寺院の現状

コロナ渦まえからそうだったのですが、コロナ渦によってよりはつきりしたこと。それは、このままでは多くの浄土真宗の寺院には存続し続ける未来はないということですよ。

現在、浄土真宗本願寺派の寺院は全国に一万ヶ寺あまり。この中、住職がない寺院は千ヶ寺を超えます。

住職在住寺院の中、専業住職は六十四%（滋賀県は三十九%）、兼業住職は三十五%（滋賀県は六十一%）です。しかも、専業住職の中には定年退職後の世代の僧侶も少なから

ずいます。

滋賀県内では、実質八割以上の実年世代住職が兼職を余儀なくされています。兼職の種類は、これまでは役所や学校に勤務する公務員が多かったのですが、今は一般企業に勤める住職も増えてきています。

何故、公務員が住職の兼職に人気が高かったかというと、時間に融通がきいたからです。お葬儀など予定が立てられない急な職務が生じた時、休暇が取りやすいのが公務員の利点だったからです。

しかし、今はかつてほど公務員も時間に融通がきかなくなりまし。一般企業

なら尚更急な休みは取りにくく、住職と兼ねてする職のどちらかを選び捨てなければならぬ、究極の選択を迫られることも出てきました。

兼職住職の多くも、家庭を抱える世帯主です。経済的に家族を守っていかねないことから、やむなく住職を捨てる選択をする僧侶も増えてくることでしょう。

一方、寺院所属の門徒数も減少傾向にあります。主力門徒の世代は七十歳代以上が多く、しかも次の世代の家族との同居は非常に少ない状態です。となると、この先高齢世代が亡くなるといくことにより、寺院とのつながりが門徒親子の世代間で十分に相続されていない状況から、一気に門徒

人数が減少することも予想できます。制度としては江戸時と共に終わった「寺と檀家」という関係が、実質的にも終焉を迎えているのです。

「葬式仏教」の現実

さて、現代仏教寺院や僧侶が「葬式仏教」と呼ばれるようになって久しいですが、この寺院が葬儀に関わるということさえも危機的な状況にあります。私が住職の職務をいただいて三十二年が経過しますが、葬儀の形は変化し続けています。

まず、葬儀の行われる場所ですが、三十年前はほぼ全て自宅でした。葬儀の進行も、ご当家のご近所さんや親戚の方々でした。しかし、一九八〇年前後から葬

儀社さんによる葬儀の進行が主流になり、葬儀社さんが「葬儀ホール」を建設されるようになる、その便利さから自宅での葬儀が減少し、ご近所やご親戚の関わりもほぼなくなり、今や葬儀社さんのホールで葬儀社さん進行による葬儀がほぼ全てになっています。

次に、葬儀の形態や規模ですが、三十年前の自宅葬の時代は、家族・親戚・近所・友人・職場関係など、多方面の関係者が参列する葬儀でした。したがって、昔ながらの「四つ住まい」の家であっても、会葬者は屋内に入りきれず、雨天の日などには屋外に立って傘をさしたままで参列するなどの光景もよく見られました。やがて、会場の主流が自宅から葬儀ホールになると、

公共の交通機関から近いとか駐車場が広いなどの利便性の良さから、参拝者の増加と共に葬儀より通夜への参列者が多くなるという傾向が強くなりました。この現象は、本来その性格が違う通夜と葬儀を、「昼の部」と「夜の部」の二回の葬儀をされるといった色合いへと変化をもたらしました。そして、自宅葬の頃にはなかった通夜の読経中焼香が、葬儀ホールでは当たり前のように行われるようになりました。

その結果、通夜は聞法の法座、葬儀は儀式・儀礼という性格の違いが曖昧になり、平日の日に会社を休んで参列しなければならぬ葬儀より、仕事が終わってから参列できる通夜に会葬者が増えたのです。

真宗寺院消滅の危機

一方、バブル経済の崩壊以降三十年も続く不況の波は、葬儀にも影響を与えてきました。沢山の会葬者がある葬儀では、会葬者への「返礼」にも多くの費用がかかります。それに加えて、高齢の親の葬儀の喪主となる、親と同居していない子ども達には、親の生前の間関係が十分把握できず、葬儀後の会葬者とのやりとりが負担に感じられるようになりました。

その結果、死去と通夜葬儀の告知を親戚までにして、故人の職場や友人関係にはしないようになり、それまで当たり前であった「香儀・香典」も断る、いわゆる「家族葬」が次第に増えていきました。この時点での家族

葬は、家族・親戚・親類などによる三十名ほどの参列者による葬儀でした。

そして、三年前のコロナ感染症の流行・拡大により、葬儀の形態・規模は急速に変化し続け、家族葬は親戚・親類も参列しない、せいぜい子と孫までの参列者による十名ほどの葬儀となりました。更には、通夜を省略する「一日葬」や、加えて葬儀もしない「直葬」なども確実に増えてきています。

この、葬儀の形態や規模の変化は何を意味するのでしょうか。それは、「葬式仏教」と呼ばれていた寺院や僧侶が、もう葬儀にさえ必要だと思われなくなっているということなのです。正しく、これまでの寺院のあり方からすると、これは寺院消滅の危機と言わざるを得ないでしょう。 続く



純正寺8月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、五七三、七四〇個

ペットボトルのキャップを集めはじめて十五年。こんなに少なかったのは記憶にない、一九三二個をお預かりしました。

「歓喜会」「物故者追悼法要」

6日(日) 10:00~15:00
年齢性別は問いません

弥陀浄土に往生されたご先祖がくださる仏法聴聞のご縁です。ご法話は、砺波詰所の節談説教師葦原理江師です。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

8日(火)・22日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません
お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

12日(土)・26日(土)
15:00~18:00

就学前・小・中学生対象
『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

みんなの食堂ビハーラ

17日(木)・31日(木)
17:00~19:00

年齢・性別は問いません
前半は夏休みの宿題、後半は夕食。感染対策しながら、楽しく学んで美味しくいただきます。

「月例法話座談会」

18日(金)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません
日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

12日(土)・26日(土)
15:00~18:00

小学生・中学生対象
教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

こんき常例布教

25日(金)
10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません
所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、東近江市称名寺の田中諦康師です。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

27日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません
参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

彦根組真宗講座「三帖和讃に学ぶ」

29日(火)
13:30~16:00

年齢・性別は問いません
彦根組主催の、門徒対象の連続講座。初回は、三帖和讃の中から『浄土和讃』を味わわせて頂きましょう。

門徒会よりお知らせ

純正寺門徒会では、お参りくださったご門徒同志の親睦を深める一助になれようと、各門徒用の首掛け式の名札(住所・氏名・法名が記載)を作成しました。法要ご参拝の際に是非お使いください。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookで生配信もします。